



2022年2月9日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 山 善
 代 表 者 名 代表取締役社長 長尾 雄次
 (コード番号 8051 東証第1部)
 問 合 せ 先 責 任 者 取締役 常務執行役員
 経営管理本部長 山添 正道
 (TEL 06-6534-3003)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年11月10日に公表しました2022年3月期の通期連結業績予想及び2021年5月14日に公表しました2022年3月期の配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 490,000	百万円 13,000	百万円 13,000	百万円 9,000	円 銭 100.11
今 回 発 表 予 想 (B)	500,000	16,000	16,000	11,000	122.35
増 減 額 (B - A)	10,000	3,000	3,000	2,000	
増 減 率 (%)	2.0	23.1	23.1	22.2	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	434,744	11,234	11,209	7,572	80.25

(2) 修正の理由

当第3四半期の連結業績は、新型コロナウイルスのワクチン接種が世界各国で進み、生産財関連事業が幅広い需要を取込む中、エンジニアリング機能を備え収益性が高い海外生産財事業が伸長した結果、営業利益をはじめ各利益は想定を上まわりました。

当第4四半期におきましては、変異株である「オミクロン株」の影響が見通せないものの、足元の受注状況から上記傾向が継続することが見込まれます。また、設備稼働計画の見直しやコロナ禍(「オミクロン株」)に起因して販売管理費の減少が見込まれます。これらの要因により、売上高は微増ですが、営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を上回る見通しとなるため、2022年3月期通期の連結業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正について

(1) 2022年3月期の配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2021年5月14日)	—	15円00銭	25円00銭
今回修正予想	—	25円00銭 (内、記念配当5円00銭)	35円00銭 (内、記念配当5円00銭)
当期実績	10円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	10円00銭	10円00銭	20円00銭

(2) 修正の理由

当社は、安定した財務基盤の確立と収益力の向上を図り、株主の皆様への安定的な配当の継続を基本に、自己株式の取得も含め、利益水準を考慮して利益還元を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、本日公表の2022年3月期の連結業績予想及び財務状況等を総合的に勘案した結果、期末配当予想を1株当たり15円から10円増配の25円（普通配当20円、記念配当5円）に修正いたしました。これにより、既に実施済の第2四半期配当金の10円とあわせて当期の年間配当金は35円となります。

(3) 記念配当実施の理由

当社は2022年5月30日に創立75周年を迎えることとなります。これを記念し、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するため、2022年3月期の期末配当において、1株当たり5円の記念配当を実施させていただくことといたしました。

(注) 上記の業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上